

こうとう親子センター とは？

こんな団体です

～子育てと子育てを応援します～

私たちは、江東の子どもたちと子育てのために、自分たちの手のできる支援をしようと、有志が集まったボランティアグループです。

平成16年より勉強会などを重ね、平成18年3月に40名余りの任意団体として発足しました。

いろいろな活動を企画し、子どもと子育てを支える、新たな地域の「つながり」を作ることを目指しています。

めざしているのは

～子どもが子どもらしく育つ、笑顔があふれるまち～

少子化の進む社会、子どもや子育てへの支援は昔よりも手厚くなっています。にもかかわらず、生きづらさを抱えた子どもたちや、子育てがしにくいと感じる親は昔よりも増えています。

私たちは、「フツウの市民としてできること」で、社会に子どもたちと子育て家庭を取り巻く「応援の輪」をつなげ、**温かい笑顔があふれる社会**を取りもどしたいのです。

こんな人たちがやっています

～社会の子どもたちのために、“自分の手”で何かしたい～

主婦、会社員、子育て中のママパパ、シニア世代、医師、弁護士、保育士、カウンセラーなど、フツウの市民から、子ども関係の専門家まで、**いろいろな人が**集まっています。

孫のいる人、子育て現役の親、子育て未経験世代も、互いの意見を聴きあい、学びあいながら、活動しています。

★ 連絡・お問合せ先

自分たちのこのまちのため、社会に育つ子どもたちのために、何かしてみたい方、ほんの少し、ご自身の時間や能力を社会に役立ててみたい方、そういう「おひとよしでオセッカイな仲間」が欲しい方、ご連絡をお待ちしています！

代表理事：渡辺恵司 江東区大島 2-9-28 TEL03-3682-8583

事務局：FAX 03-3634-4085 Eメール info@kotooyako.com

ホームページ <http://www.kotooyako.com/>

こんなことを進めています

■とうきょうかわのてチャイルドライン

子どもがかける専用電話。匿名で何でも自由に話ができ、聴き手はお説教も批判もしないで、子どもの話を聴きます。世界 60 ヶ国、日本では 44 都道府県 74 団体が協力し、毎日のフリーダイヤルも実施。江東では毎週金曜日に開設しています。

■ママパライン東京川の手

子育て中の親の話を電話で傾聴することでエンパワメントを目指す、**子育て応援電話**。全国 9 ヶ所で開催。東京では毎月第 1 と 3 金曜日に常設しています。

■家庭訪問型子育て支援ホームスタート・こうとう

子育て中の家庭を訪問し、話を聴き、親の気持ちを受け止めながら、一緒に家事・育児をすることで、親としての育ちを支える**自立支援型の新しい子育て支援**です。英国発のホームスタート・ジャパンと連携しています。

■おもちゃの広場たち

グッドトイで遊べる親子の広場。亀戸と西大島で毎月開催。おもちゃコンサルタントや見守りボランティアと一緒に、お母さんものんびりでき、仲間と知り合う機会にも。

■一時保育

講座やイベント時の保育や、見守り。子どもをちょっと預かることで、子育て中のお母さん達に、ほっとする時間や、勉強する時間を作ります。

■親支援事業

発達支援ムーブメント、親子工作ひろば、小児科医のお話会など、様々な**子育てを応援する講座**などを、企画、実施しています。

■子ども・子育て応援者養成

家庭を訪問するホームビジターや、電話受け手傾聴ボランティアなどの養成講座を実施。またボランティアセンターの子育てボランティア養成にも協力しています。

■江東次世代育成推進研究会

支援者の学習・交流会と、子育てやサークル活動の連絡会。

参加資格など、特にありません。子育て支援にご興味をお持ちの方の気軽な勉強会

【夜研究会】

専門家を含む子育て支援者や、市民のための勉強会。不定期開催。

【昼研究会】

子育て中の親や、子育てサークルなどの連絡会。不定期開催。

こうとう親子センター <http://www.kotooyako.com>

イベント案内 <http://plaza.rakuten.co.jp/kotooyako/>

ホームスタートこうとう <http://homestartkoto.com/>

子育てと子育てを応援する
こうとう親子センター
活動のご紹介



こうとう親子センター
事務局 渡辺恵司



Copyright2007 Kotooyakocenter

1

こうとう親子センター って
こんな団体です



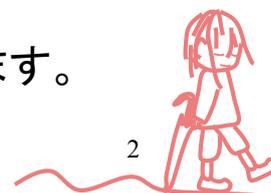
～子育てと子育てを応援します～

私たちは、江東の子どもたちと子育てのために、
自分たちの手でできる支援をしようと、有志が集まった任意団
体のボランティアグループです。

平成16年より勉強会などを重ね、平成18年3月に40名余りの
任意団体として発足しました。

いろいろな活動を企画し、子どもと子育てを支える、
新たな地域の「つながり」を作ることを目指しています。

2





こうとう親子センター の めざすもの

～子どもが子どもらしく育つ、笑顔があふれるまち～

少子化の進む社会、子どもや子育てへの支援は昔よりも手厚くなっています。

にもかかわらず、**生きづらさを抱えた子どもたちや、子育てがしにくいと感じる親**は増えているようです。

私たちは「**フツウの市民としてできること**」で、社会に子どもたちと子育て家庭を取り巻く「**応援の輪**」をつなげ、温かい笑顔があふれる社会を取りもどしたいのです。



こうとう親子センター 団体の概要

■人数、メンバー

- ・現在の会員約50名、20代～70代まで
- ・主婦、会社員、子育て中のママパパ、シニア世代、医師、教員、弁護士
保育士、カウンセラー、民生委員、NPOやNGOのスタッフ など

■会員制度

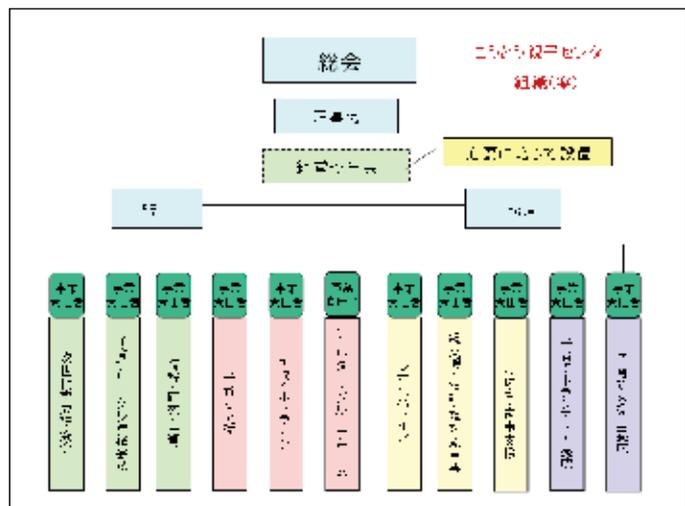
- ・正会員 年会費5000円
- ・協賛会員 // 1口1000円

■団体登録など

- ・ボランティア団体(社協)
- ・社会教育団体(教育委員会)
- ・男女共同参画団体

■組織

- ・総会、理事会と事業チーム
- ・スタッフは全てボランティア





こうとう親子センター 事業

★子どもの育ち支援事業

とうきょうかわのてチャイルドライン

★親の子育て支援事業

ママパパライン東京川の手、一時保育、不登校親の会(試行)

家庭訪問型子育て支援ホームスタートこうとう

★親支援講座事業

親のための講座、発達支援ムーブメント、親子工作教室まつり

おもちゃの広場たち など

★支援者育成事業

ボランティア養成講座(電話受け手、家庭訪問、ボラセン協力)

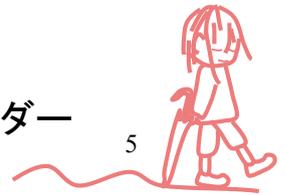
★支援者のネットワーク構築、交流事業

次世代育成研究会(夜の部、昼の部)

★情報発信事業

情報サイト(育児者向け、支援者向け)、親子イキイキカレンダー

5



とうきょうかわのてチャイルドライン

1.子ども自身がかかる電話です

子どもたちへの4つの約束

名前は言わなくてもいいよ
イヤになったら、切ってもいいよ
どんなことでも、いっしょに考える
ヒミツは、ぜったいもらさない

学校にカードを配ります



2.「相談」ではなく、「子どもの話を聴く電話」です

「こうした方がいい」とか「それは良くないね」とは言いません
ただ、子どもたちが聞いて欲しいことを、心に寄り添って聴きます



子ども本来の力を
引き出す
(エンパワメント)



とうきょうかわのてチャイルドライン 実施の概要

■実施体制

- ・毎週金曜日 午後6時～9時 江東区内(場所は非公開)
- ・後援 江東区教育委員会 文部科学省 厚生労働省他
- ・主催 こうとう親子センター
- ・実施 こうとう親子センター電話チーム 受け手・支え手・広報や研修など

■研修、公開講座

- ・受け手傾聴ボランティア養成講座 次回23年秋の予定
- ・公開講座 毎年、電話から見える子どもや社会の状況をテーマに開催
思春期、デートDV、不登校、家族コミュニケーション
2011年3月「子どもの発達障がいの理解と支援」
- ・既存スタッフ研修 随時実施

■広報

- ・電話カードやポスターを小・中・高等学校、児童館などへ配布



家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・こうとう

研修を受けたボランティアが子育て家庭に入る
家庭滞在型支援
英国で約30年、高い効果を上げている

特徴・傾聴と協働、守秘義務

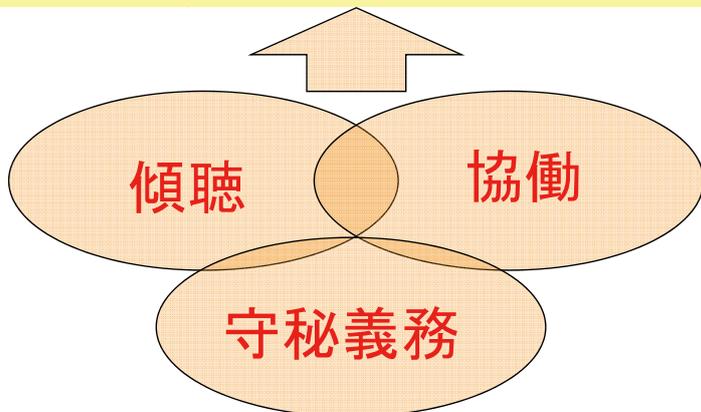
- ・コーディネーターによる評価、終了判定
(組織、システムとしての支援)
- ・民間性

- ・単なる家事・育児代行ではなく、**自立支援**
- ・傾聴し否定せず寄り添う**エンパワメント**
- ・施設に出て来られない親への支援、
重篤に落ち込まないための**予防的な支援**



ホームスタート・こうとう

子育て経験者が、親の気持ちに寄り添い、効果を発揮する支援



親の話を傾聴し、気持ちに共感し、一緒に行動します。
アドバイス、指示、家事・育児代行はしません。
見守り、受け止め安心感をつくり自立に向かう支援です。



■ 工作教室まつり

- ・7・8・12月開催
- ・手作りや工作など親子で参加
- ・企画持ち寄り、受付などのボランティア

■ 発達支援

ムーブメントプログラム

- ・月1回土曜開催
- ・感覚統合プログラム
- 乳幼児親子で参加



■次世代育成研究会

- ・不定期の勉強会
- ・家族関係、虐待防止教育、子育て支援など



■おもちゃ広場

- ・亀戸、西大島で毎月1回
- ・乳幼児親子
- ・見守り、親支援、会場設営などのボランティア

11



情報発信

■親子イキイキカレンダー

- ・区内3000部 無料で発行
- ・親子イベント
- ・子育てサークル情報
- ・編集、配布、印刷などのボランティアで作成

■ホームページ

- ・親子センターのHP
- ・子育てイベント情報
- ・支援者向け情報



12



子育てと子育てを支援する こうとう親子センター

私たちは、江東の子どもたちと子育てのために、**自分たちの手でできる支援**をしようと、有志が集まったグループです。

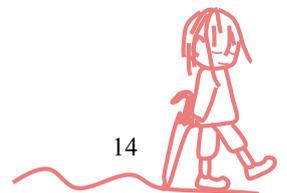
いろいろな活動を企画し、**子どもと子育てを支える、新たな地域の「つながり」**を作ることを目指しています。

これからも、ご支援ご協力をいただけますよう、お願いします。

**みんなの笑顔があふれ、
子どもが子どもらしく育つためのつながいを、
私たちの手でつくります。**



もしもし
あのね・・・



子育て支援「子育てたんぼぼ」の概要

<動 機>

・此処20～30年、集合住宅、マンションの増加は戦前戦後と社会を変えた。かつて一緒に入居した若夫婦は、今は子育てを終え高齢化に入った。急遽増設をしたり新設をした小、中学校は入学する対象者の減少で統廃合の状況である。

一方、かつて大工場のあった土地や臨海地区はマンションが続々建設され、都心に近い好条件もあり人工は爆発的に増加をしている。

・戦後の歪められた権利意識や過度のプライバシー意識は歴史的に培われた思いやりや譲り合いのころ、ふれ合いと助け合いの社会を失いつつある。

少子化と核家族化により老人は一人家と病院の往復、若夫婦は結婚して初めて赤ちゃんに触り分らない事だらけ。

・人にやさしい環境づくりが叫ばれて、駅や歩道、交差点、スーパー等少しずつ改善されて来た。しかし、老人の孤独化、子育ての孤独化、人々の孤独化は増すばかりで、人間関係の面ではどうも願いとは逆行している感が否めない。

<原 因>

・少子化で育て上げた子ども達は独立、残った親夫婦は高齢化。日本の伝統的意識、「人様に恥ずかしくないよう」、とか「人に笑われないように」、「人様に迷惑をかけないで」、と言った恥じの文化は過度に老人を引きこもらせ、孤独化させている。

・この核家族化は若いパパ、ママの子育て環境も大きく変化させた。

以前なら親兄弟と共に、また隣近所の人々に気軽に声をかけられたり、教えられたり、皆に支えられてした子育てが、マンションの一室で、育児に孤独に闘い、話し掛けたり相談する人も無くストレスに押しつぶされそうな毎日の中で苦しみを訴えています。

少子化で兄弟も少なく、何不自由なく豊かさの中で育てられた子ども達が、ある日から突然赤ちゃんを育てなければならないのですから大変です。

<目 的>

・地域とは老人も若者も子どもも障害者も混ぜん一帯となって生活して、その中でお互い声を掛け合い、助け合って楽しく、安心し、安全に精神的にも肉体的にも喜びの多いことを願いとしている。

<活 動>

・上記に述べてきた中で、先ず、社会の時代を担う子ども達、其の中でも子育て

てに悩むパパ、ママの支援とそのお子さん達の健全育成に支援する。支援には地域の世代を超えて参加し、交流、助け合いを図る。

- ・ 広く PTA、町会、老人会、子ども会、民生委員、その他心有る人の参加を募り、温かな街づくりを再生する。
- ・ 江東区子育て課を始め、青少年センター、子育て支援センターみずべ、社会福祉協議会等、公的関係諸機関と連携し助言と支援を得ながら行う。

<対 象>

現在妊娠中の人から子育て中の人

< 時 >

会場により違う 例 毎月第二木曜日 10時～11時30分

<参加費>

200円（会場費と傷害保険料）

<集会内容と進め方>

1. 一会場を10人未満の少人数サークルとする。
2. 助産婦、専門家、または子育て経験ボランティアがお世話する。
3. 体重測定、育児相談、離乳食相談、寝相相談
4. 個別相談は専門家を紹介する。
5. お話『私の失敗、成功談』『寝違ってどうするの』
6. 皆で話そう『わいわい、ガヤガヤ』
7. 参加者が誰とでも自由に気軽に話し合える場とする。
8. その時々で皆が参加し易い方法を取り入れてゆく。

あくまでもこのサークルは子育てを支援し子供達の心身共に健全な成長を願うもので、それに必要と認められたものは協議し随時取り入れてゆく。

<組織と運営>

地域つくりと子育てを応援しようとする心あるボランティアと子育て中のパパママ、そして子育てを学ぼうとする人によって組織される。

<ボランティア>

- ・ 世代、性差を越え互いに助け合って行う。
- ・ ふれ合いの場、ひろば造りの気軽な活動とする。

- ・対人関係の不得てな人、引きこもりがちな人、子育てに悩んでいるママをあたたく迎え入れる気配りを欠かさない。
- ・アドバイス、注意、意見、考え方等は押し付けない（アドバイスはそっと）
- ・相談、悩みは出来るだけ暖かく最後まで聞いてあげる。
- ・大事な相談は一人で解決せず専門家につなげる。
- ・知りえた個人のプライバシーは固く厳守する。
- ・活動は広く地域に広げ温かな和をつくる。
- ・いつも教えてもらい、学ばせて頂くという感謝のこころで行う。
- ・政治、宗教、信条は押し付けない。

<参加者へのお願い>

- ・お互いに声を掛け合い、挨拶はきちんと。
- ・仲良く、アットホームに、でもプライバシーは侵さない。
- ・大人としての自覚と責任を持ち、他の人に迷惑をかけない。
- ・常に、ありがとうございます、という感謝の気持ちで参加しよう。
- ・仲間の和が出来るのは良いが、いつでも、誰でも入りやすい輪をつくろう。
- ・セールス、宗教、政治活動は控えよう。

活動の拠点

1. 公共施設 文化センター 区出張所 亀戸カメラア
2. 準公共施設 町会会館 公団・マンション集会所
3. 青空広場 公園
4. 個人のお宅

以上の案で子育て支援サークルを各地に作り応援活動をします。

代表 鈴木淳一
事務局 江東区大島2-9-28 渡辺恵司



平成 25年度 (2013)



子育てたんぽぽ亀戸 年間計画表

子育てはたいへん (><) ! 毎日疲れてませんか? 抱えている悩みをちょっぴりこぼしに
来ませんか? 同じような経験をした先輩、助産師さん、保育士さん、保健師さんと話してみま
せんか? 先輩ママが待っています。

子育ての喜び! 子どものかわいさ! 話しあったり、励まし合ったり、皆の「子育て広場」
パパの参加もちろんOK。誰でも予約なしで自由参加です。

会場 **亀戸文化センター カメラプラザ 6階 第一和室**(大和室)

住所 江東区亀戸2-19-1

電話 03(5626)2121



日 程: 毎月第三火曜日 AM10:00~11:30

参加費: 300円 (会場費、保険代を含む)

※参加費には保険代が含まれます。会場内、会場への行き帰りでお怪我をさ
れた方には保険が適応されます。

途中でお買い物などに寄る場合は適応されません。ご了承ください。

4月16日 **ママのための整体** 産後の体の整え方 肩こり腰痛ストレッチ

5月14日 **リトミックとエプロンシアター** 川口先生とそのグループ

6月18日 「**どんな子に育ててほしい?**」元幼稚園長から見た子育て

7月16日 親子で遊ぼう **おもちゃの広場**「たっち」

8月 お休み

9月17日 **ママのための整体** 肩こり腰痛ストレッチ

10月15日 **乳幼児の為の救急対応** 会場=城東消防署

11月19日 子どもはお歌が大好き **童謡と子守唄**

12月 お休み

1月21日 **食育と離乳食作り** 増田幼児調理師 石塚助産師**発育相談**

2月18日 **肩こり腰痛ストレッチ**

3月18日 **虫歯予防とお口のお手入れ** 倉田歯科衛生士

※講師はすべてボランティアです。講師の体調、都合で予定が変更になる場合もあります。
何卒ご了承ください。また、一緒に活動していただけるボランティアさんも随時募ります。

子育てたんぽぽ お問い合わせ先

〒136-0072 江東区大島2-9-28

電話 03(3682)8583 渡辺恵司

